

R5開始

さかたし

酒田市(山形県)

主な品目

- 水稲



実施体制

酒田市、山形県、JA庄内みどり、JAそでうら、JA全農山形、生産組合協議会、畜産関連民間業者、ほか生産者等

面積情報

有機農業取組面積:46.2ha
耕地面積に占める割合:0.4%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

近年の農業は、環境負荷の低減を図りながら、生産力向上と持続性の両立が求められる。課題として、生産コストの削減と収量確保を前提に、化学肥料・化学合成農薬の使用量を低減させること、また必要とされる労働投入量の増加に対して担い手が不足していることが挙げられる。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大

R4年度 40ha → R10年度 45ha

有機農業に取り組む農業者数の増加

R5年度 13人 → R10年度 14人

3 主な取組内容

生産

- 堆肥活用による土づくりに係る研修
- 循環型農業の促進に係る研修
- 市内畜産農家が提供する堆肥情報提供
- 化学肥料・農薬を低減させた実証栽培
- 新規就農イベントへの出展

加工・流通・消費

- 有機農産物等の直売イベント
- 都内アンテナショップと有機農産物の需要に係る意見交換会



循環型農業の促進のために開催した生産者向け研修会



化学肥料低減を目的とした水稲の実証栽培において、ポンプにより牛尿液肥を施用



有機栽培米など環境に配慮した地元農産物について、生産者による直売イベントを開催

4 これまでの成果

有機農業など循環型農業の理解を促進するために、生産者による有機農産物等の直売イベントを開催

【有機農産物等直売イベント来場者数】
R5年度 0人 → R6年度 約500人

5 今後の展望

基本となる人づくりと土づくりを継続しつつ、環境にやさしい栽培技術の検証を行い、生産力向上と持続性の両立に向けて取り組んでいく。